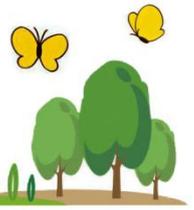




ちょっとそこまで ～お散歩日和（自然編）～

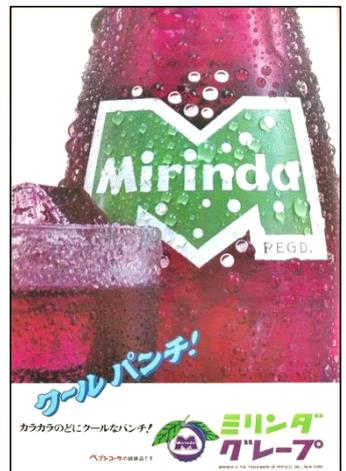


「ペプシ・ミリンダ」と聞いて、すぐに何のことか思い出せる人はそう多くないような気がします。60年代、コカ・コーラ社が出す「ファンタ」に対抗するために、ペプシコ社が出した炭酸飲料です。

しかし、結果は惨敗で、今では日本からすっかり姿を消してしまいました。聞けば、東南アジアでは今も健在だそうです。でも、そもそも本体のペプシ・コーラはどうなっているのでしょうか。

一時期、マイケル・ジャクソンがペプシのCMに出て、コカ・コーラを席卷したことがありました。ただし、その時の撮影時に彼は頭に大やけどを負うことになります。その映像は死後公開され大きな反響を呼びました。今はYouTubeを始め、ほとんどの動画サイトでは視聴できませんが、USマガジン社のサイトでは見ることができました。

ここで少し脱線しますが、この「ミリンダ」とは、世界共通語エスペラントで名付けられた名称です。と言いつつ、エスペラントもその創始者ザメンホフも既に死語なのかもしれません。しかし、個人的に一時期エスペランチストを志していたので、人一倍愛着があります。



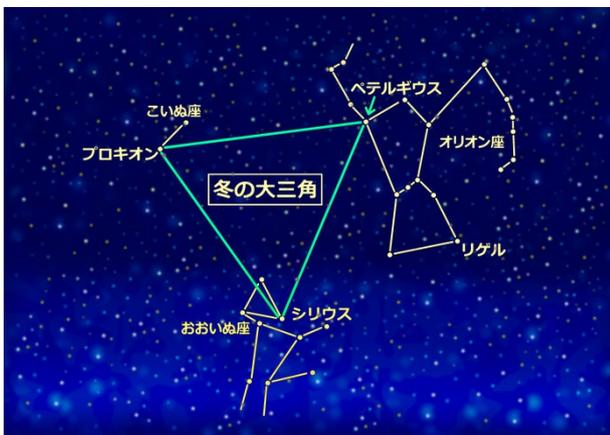
「ミリンダ」を分解すると、「miri+ind+a」で成り立っています。

- miri…驚く（動詞の原形・不定形）
- ind…価値があるという意味の接尾語
- a…形容詞語尾（名詞は-o, 動詞は-i, 副詞は-eで終わります。）

この3つの合成語なので、直訳すると「驚くべき価値のある」の意味になります。「fantastic」の対抗馬としては理に適った命名ということになるのでしょうか。

さて、やっと本題に入ります。いよいよ夜空の星が美しく輝く季節になってきました。空気が乾燥し、水蒸気による大気のゆらぎも少なくなるため、晴れた夜は遠くまで澄み渡ることになるからです。

その冬の星座の代表格がオリオン座です。1つの星座に2つの1等星をもつという何とも贅沢な星座です。その2つの1等星、ベテルギウスとリゲル、それから三ツ星に加えて、さらに獵師オリオンの引き連れている2頭の獵犬であるおおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを全部まとめて覚えてしまおうという裏技をご紹介します。それが「ペプシ・ミリンダ」です。



- ペ（ベ）……ベテルギウス（オリオンの赤い星）
- プ ……………プロキオン（こいぬ座の1等星）
- シ ……………シリウス（おおいぬ座の1等星）
- ミ ……………三ツ星（オリオンのシンボル）
- リ ……………リゲル（オリオンの青白い星）
- んだ……………東北弁で「～なのだ」という意味。

ついでは何ですが、「夏の三大角」も一緒に覚えてしまいましょう。夏の夜空に圧倒的な存在感を放つ3つの星座です。そして、それぞれの星座に1つずつ1等星が配されています。中でも、ベガとアルタイルはそれぞれ織姫と彦星ですので、誰もが知っている七夕伝説の主人公たちということになります。

もったいぶって恐縮ですが、まずは右の写真を見てください。

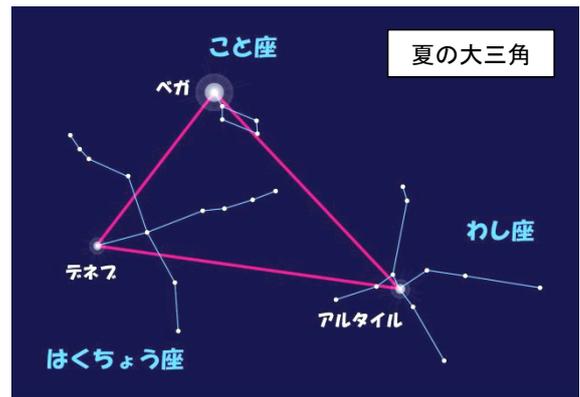
神戸の夜景はその美しさから、その昔100万\$と評されていましたが、今は観光のキャッチコピーとして1000万\$に跳ね上がっているのだそうです。



加えて、誰にも知られていませんが、兵庫県はマッチのシェアが全国で90%以上という一大生産地で、その中に、ワシ印の神戸マッチがあります。

さてここまでをしっかりとイメージしたうえで、「派手な神戸にワシがある」というフレーズを覚えてください。これこそが「夏の大三角」必殺覚え技です。

- ハ …… はくちょう座
- デ_な …… デネブ
- コ_う …… こと座
- ベ_に …… ベガ
- ワシ_が …… わし座
- アル …… アルタイル



これで、もうあなたは「夏と冬の大三角」両方とも忘れることはないでしょう。おめでとうございます。

オリオン座に話を戻します。この星座は方角を知るのにも重宝します。東から出てくる時は、オリオン座の真ん中にある三ツ星が縦に並んで1つずつ出てきます。反対に、西に沈む時はこの三ツ星が横に並んで沈んでいくからです。三ツ星の並び方を見ただけで、どこの方角か瞬時に分かるというわけです。



ところで、よく勘違いをして、オリオンは冬にしか見られない星座だと思っている方がいるので触れておきます。季節の星座とは、午後8時前後の一番観察しやすい時間帯によく見える位置にある星座という意味です。

例えば、数年前にヒットした「真夏のオリオン」という映画は、真夏の早朝の、

ほんの僅かな時間帯だけ東の空にオリオンが見えることをモチーフにして紡がれた物語です。冬の星座であるはずのオリオンに出会えることの幸運と、それが母国の位置を示す東の方角という「帰りを失わないように」という不戦への強いメッセージを込めていることとなります。よく覚えていませんが、この映画は戦争映画のはずなのに、ほとんど死者が出なかったような、それでいてスリリングな展開だった記憶があります。



最後になりますが、このオリオン座の三ツ星の少し下に、「M78星雲」が隠れています。そうです、ウルトラマンの出身星「光の国」です。本当は、おとめ座の「M87星雲」をイメージして創作されていたのが途中の誤植で入れ替わったという説もありますが、どちらでもよろしい。

でも、子や孫と星の話をする時に、そんな話にも触れられると、一夜がぐっと楽しくなる、そんな気がするのです。(終)